

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和元年11月11日（月） 18時30分～20時30分
開催場所	北部地区農村環境改善センター2階会議室
会場責任者	奈良岡隆、木戸喜美男
記録者	竹山美虎、山崎翔一
	赤平勇人、秋村光男、奥谷進、神山昌則、軽米智雅子、木戸喜美男、里村誠悦、竹山美虎、中田靖人、奈良岡隆、長谷川章悦、藤原浩平、山崎翔一、渡部伸広 議員14名
参加者数	市民17名（全参加者数31名）
報告内容	令和元年第3回定例会の主な出来事について
意見交換内容 （意見の要旨）	<p>防災について知りたいこと、気になっていることは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足が悪い、歩けない人を助けていたら自分が命を落とす。どうしたらよいのか ・町会の役員だが、自分の家の孫たちを一番助けたいので役員を果たせないのではと悩む ・そんなに避難訓練が役に立つものなのか ・パニックになってしまうのが一番大変だ。これは本当！パニックにならないためにはやはり繰り返し練習する。だから防災より人と人をつなぐ集まりを楽しく！ ・防災のみでまとめるのではなく環境問題と合わせて学ぶことを提案したい。楽しく学ぶこと！ ・まずは自分の命と身内が大事なのに役員に背負わせるのか ・防災をゲーム的に身につける楽しいものを作り上げてほしい。子どもにアイデアを求めたい ・訓練ではなく学ぶ。子どもたちと大人、じいちゃん、ばあちゃん ・北部地域では、指定避難所が水平避難になってしまうので、津波などからは山に向かって逃げないといけない ・学校の鍵は誰が持っているのか。持っている人は遠い。市の職員も間に合わない。街の地域とは違う ・高齢者が多い ・津波が湾内で起きたときのことを県は想定しているのか？ ・避難連絡があるのか？どこから？ ・自分の判断で避難場所に行けるのか？ ・避難場所の鍵が施錠されている場合はどこへ行けばよいのか？ ・誰に鍵を開けてもらえばいいの？ ・近所は高齢者が多い。1人で逃げたいが声がけしてあげればよいのか、どうすればよいのか？ ・むつ湾に津波が入ってきたらどうなるのか想定しているのか？

- ・避難場所が近くにない。家族への連絡をどうするか。
- ・はげ山状態で川に土砂が流れてしまうのでは…。植林活動をされているのか？
- ・停電になったらどうするのか。情報源は？
- ・自分の身は自分で守れというが、守れない人はどうするのか
- ・内真部川の川幅。河川敷は木が育って流れが悪い。継続的な管理を！
- ・六枚橋の水門は誰が開けるのか。ハンドルが開けられない。ごみが入ってくるから閉めたまま
- ・平日若い人がいない
- ・避難所の鍵のこと
- ・学校の避難所
- ・チリ津波、情報が何もない
- ・海底と断層型地震
- ・地球温暖化による海水温の上昇
- ・陸奥湾の海溝プレート
- ・避難所（各小学校）は午前8時から午後5時まで！
- ・ため池
- ・長野、千葉、断水の問題
- ・断水時、ラーメンが食べられない
- ・大雨時に毎回床上浸水する家がある
- ・河川内土砂や雑木が邪魔して大雨時に洪水の危険性が大きい
- ・降水量、どこにどれだけ降ればどこにどれだけ流れるのか、水位はいくらになるのか知らない
- ・水路から大きな川へ流れない。内水面反乱が予想される（ある）
- ・現在のハザードマップは大きな川の氾濫及び決壊の場合だけ記載されている。その他の水害も発生しているので、それらも記載してもらいたい。浸水マップがない
- ・廃校になった学校の鍵は誰が開けるのか
- ・役所で学校を売った場合、どうするのか！そうした場合、避難場所として使えるのか
- ・廃校の跡地利用について
- ・消防署、分署の設置
- ・風水害の際、自宅から一旦油川市民センターへ、次に避難場所

防災について、市に期待することは何ですか？

- ・避難所（油川市民センター）にいたが、家に帰れない状態で避難所から追い出された
- ・大きな施設（指定避難所以外）よりも家の2階に上がるなど
- ・要支援者を避難所へ搬送するようしてほしい
- ・町会独自で避難所を開設したときはどうしたらよいのか
- ・逃げる場所。2階に逃げる
- ・家族会議で避難場所を決める。そのとき、「毎日〇時にその場所に行

	<p>くなどと決める。バラバラになっても決めておけばその場所に来るといふ安心感がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難はまずは一時避難場所待機。その後落ち着いたら避難場所に行く ・適切な情報 ・広報車（他地域の情報も） ・台風 19 号の際、屋根が飛ばされ被災し、油川市民センターに 1 晩泊まった。次の日、市民センター祭りで帰されたが、雨漏りや漏電で済めない状態のため、親戚の家に。違う場所でもよいので、帰れるようになるまで開設を ・自販機だらけ。自由に水を飲める場所が少なくなった。 ・避難所（後潟小学校）もガソリンがない。発電機使えなかった。廃校になったらどうなるのか？ ・避難所の鍵の管理 ・県など関係機関との連携をもつ（情報交換、意見のやりとりが必要） ※河川、国道、側溝など ・川に気、草が生え川幅が狭くなっている ・JR は電車に人を乗せるだけの仕事ではだめ。草を刈り、環境を整えることが大事。周りを大事に。人は金もうけだけではやはり…。全体に配慮できて防災にもつながる ・防災無線・ラジオの整備 ・連絡方法がわかりにくい！ ・スマホを利用できない人も多い。情報に予算をかけてほしい ・災害時には大きな音、声で伝えてほしい ・連絡網のような班（5、6 人）を作って、安全に避難できるようにしたい ・避難所に誘導する道しるべをもっと作ってほしい。今までのもきちんと新しくする ・昔は支所にサイレンがあった ・避難所の鍵をわかるどころへ ・後潟小学校は今度どうなるか ・スマホのない人への連絡方法 ・防災無線が欲しい。早急に。急ぐべし！有線放送を要するか？ ・町会ごとのハザードマップが必要 ・川が狭い。底が浅い。河口付近が狭くなっている ・前田湯の沢川の河口が狭いため東風時、常に満水状況にあり、河川付近の砂対策を要望する ・瀬戸川河口が狭いので洪水の原因になっている。これまで再三県に陳情したが、地権者の都合で県でも今のところどうにもならず、依然として解決にいたっていない <p>防災のため、あなたができることは何ですか？</p>
--	--

- ・声掛け（重要）
- ・近所への声掛け
- ・町会の防災体制を活用し、町会の皆様に早急に連絡し、至急移動してもらうこと
- ・日頃より町民、家族等で声をかけあうこと
- ・隣同士の付き合いが大事
- ・独り住まい等で動けない人に連絡する
- ・川の水量を見て近所の人に知らせる
- ・ばっちゃんの見解を聞く。多くの“大事”が出ると思う
- ・町会ごとのハザードマップが必要
- ・ごみの分別、資源リサイクルに町会全体で取り組んでいる。これこそ基本。防災といってもリサイクルから
- ・災害が起きたときの御飯たきはOK
- ・近所に声かけができる
- ・身近なものが大切
- ・近所とお付き合い連絡を気にかけている
- ・自給自足を心掛け、保存食をストックしておく
- ・避難所に行ったら平常心を心掛けたい
- ・できれば避難所で声掛けして、仲間づくりをしたい
- ・もし自分が動けるのであればボランティアをしたい
- ・普段から自分にできること。調理などをしたい
- ・避難所に連絡板を作って、情報を伝える手伝いをしたい
- ・地域の防災訓練
- ・自助の大切さを伝える
- ・防災ラジオで伝える
- ・自分を守る
- ・ソーラーパネル、シガーソケットで電気を
- ・知り合いに防災知識を伝える
- ・町会で防災訓練をする。避難所での過ごし方等
- ・近隣の町会との合同避難訓練の実施
- ・災害発生時の町民とのコミュニケーション
- ・避難所の収容人数は大丈夫？誰がどこに避難する？
- ・とにかく避難する
- ・防災グッズ、非常食を備える
- ・懐中電灯を玄関に置く
- ・地震時にはトイレに避難する
- ・町会で歩いて避難訓練。参加率70%！！

自由意見

- ・避難所のトイレはどうなっているのか
- ・山に登るのは難しい。自分の身は自分で
- ・避難所での要介護の方への対応、施設

	<ul style="list-style-type: none"> ・眺望さんのトイレはソーラーで24時間使える ・あおもり桜マラソンの件。通過町内会への周知がない。新規の経路を明確にしてほしい。通行止めの時間が不明で住人が不安。車が通れない時間が長いので ・市道の整備 ・河川の整備 ・六枚橋川の土手の柳、くるみなどの雑木を切ってほしい ・津軽線の線路わきに雑木が多く見通し悪いので切ってほしい（JRに。六枚橋熊野宮南） ・猿被害。20匹くらい！！農作物を食い荒らす。今年は特にひどい ・小さい川のハザードマップも！！ ・議員の方々と快く意見交換できてよかったです。またよろしく願います ・議員さんたちを身近で見ると素敵なので、このような集いはOK ・近所に食料品店、病院がない ・銀行が遠い。あるのはゆうちょ銀行 ・生活の楽しみを作りたい。地域で楽しく生活したい ・免許返納した後の足がない ・病院・銀行・店が来てもらえるシステム作り
<p>記録者所見</p>	<p>今回のワールドカフェは、テーマが防災ということで、市民と議員の活発な意見交換が行われました。中には防災士の方もいらして、防災についての知識が深まり、また、そのような有資格者の方を交えての意見交換はとても貴重で有意義なものでした。</p> <p>関心事項としては、情報手段、そして、北部地区では避難場所として指定されている小学校の統合もあるため、今後どのようになるのかなどが挙げられていました。</p> <p>市民の皆様からいただいた意見を生かせるよう、また、より市民の皆様が参加してよかったと思える議員とカダる会になるように、議会広報広聴特別委員を初め、議員一丸となって次回開催に向けて議論をしていきたいと思えます。</p>

青森市議会議長 様

令和2年1月17日

以上のとおり報告いたします。

なお、当日、参加された市民から出された意見のうち、議会として「特に執行機関に伝えるべき」とした意見については、別紙のとおりです。

会場責任者 奈良岡 隆

木 戸 喜美男

出席議員 赤 平 勇 人

秋 村 光 男

奥 谷 進

神 山 昌 則

軽 米 智雅子

里 村 誠 悦

竹 山 美 虎

中 田 靖 人

長谷川 章 悦

藤 原 浩 平

山 崎 翔 一

渡 部 伸 広

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書 別紙

令和元年第2回議員とカダる会において参加者から出された意見のうち、議会として「特に執行機関に伝えるべき」とした意見については、以下のとおりです。

【北部地区農村環境改善センター会場】

No.	意見等の要旨	理由・背景等
1	後潟小学校の災害時に使う発電機の燃料（ガソリン）が切れていた。	管理体制がどうなっているのか心配である。
2	町会ごとのハザードマップが必要。	いざというときの避難に活用できるものとする。（詳細が今のマップではわからない）
3	六枚橋の水門がこわれていて開閉できない。	水門がさびているとのことであり、改修が必要と考える。

別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



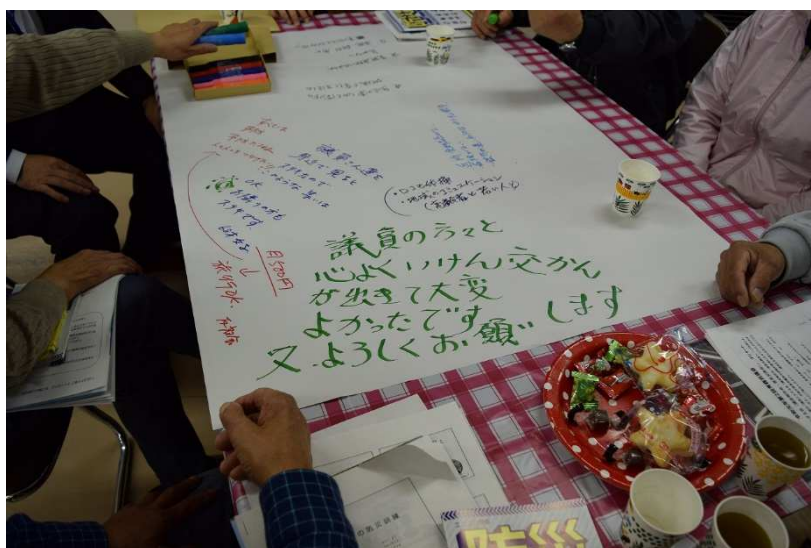
別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）



別紙 会場写真（北部地区農村環境改善センター）

